

C) シャント感染症の治療

自己血管の感染は抗菌剤の治療のみで手術しなくても治療できる場合もあります。

人工血管の場合はほとんどの場合、手術で感染血管を除去しなければなりません。感染の範囲が小さければ、一度の手術で部分的に感染人工血管を除去し感染していない部分に新しい人工血管を入れることができます。感染の範囲が大きいと人工血管の全抜去が必要となります。そして入院し中心静脈カテーテル(首や足の付けねから太い静脈に入れる緊急透析用の管)を挿入して透析します。

D) 予防

- ① 穿刺時に皮膚の菌をなるべく少なくしておくことが一番大切です。必ず透析前には石鹸を使った手洗いをしましょう。なおペインレスシールは剥がして手洗いして下さい。
- ② 透析日は穿刺した部分の傷がまたふさがっていないので、穿刺部をぬらさないようにできるだけ入浴は避けてください。
- ③ 止血用のパットは翌日朝には剥がしましょう。つけたままでは細菌が増殖します。
- ④ 透析のない日はお風呂に入ってシャントの腕も石鹸を泡立てて洗って下さい。垢がついていると細菌の温床になります。ブラシは皮膚に傷がつくのでやめましょう。
- ⑤ 皮膚トラブルがひどい方は、担当の先生や看護師さんと相談して保湿クリームなどで皮膚の状態を少しでもよくしましょう。



E) 早期発見

シャント感染は早く対処することで、お話したような全身の重篤な合併症を少なくすることができます。

毎日シャントの音を確認すると同時に、シャント周囲に「赤くなっている」「急に腫れてきた」「熱くなっている」「押すと痛い」ところがないか確認しましょう。もし疑わしいところがあったらすぐに透析クリニックや病院に受診してください。

また熱が出たときもシャントを確認するよう心がけましょう。シャントに感染の兆候があれば発熱はただの風邪ではなくてシャント感染によるものかもしれません。早めにクリニックや病院で先生に診察してもらいましょう。